

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

経営理念

技術をもってお客さまの「ものづくり」への貢献を通じ、社会の発展に貢献すること。

連結売上高  
700億円営業利益率  
8%以上ROE  
12%以上

## ② 中長期の経営戦略

## 1. 国内事業の進化

大型・高レベルのEPC案件拡大、地域エリア拡大（中京・関西・九州）、メカトロニクス部門強化

## 2. 海外事業の再生

タイ・シンガポール・マレーシアでのEPC案件受注、EV化対応の新ライン設置、バンコクビジネスセンター活用

## 3. 新規事業の探索

AGV・双腕ロボットなどオリジナル製品開発、プロダクト開発部でDX・スマートファクトリー領域を推進

## 4. 組織・業務改革

人事部設立、教育センター4拠点化、コンプライアンス強化、DX化・セキュリティ対策推進

## ③ 対処すべき課題

## ① 景気不透明と受注環境

- ・物価上昇・地政学リスク・通商政策の影響で国内外の景気先行き不透明
- ・設備工事事業で顧客設備投資抑制・受注競争激化による価格下落懸念
- ・表面処理事業（タイ）でHDD部品・自動車部品需要減への対応

## ② 人材確保と育成課題

- ・少子高齢化で若手就業者確保が困難化
- ・教育センター4拠点（糸魚川・姫路・大牟田・市原）で人材育成加速
- ・協力企業との連携強化で早期育成・戦力化を推進

## ③ デジタル化と組織基盤

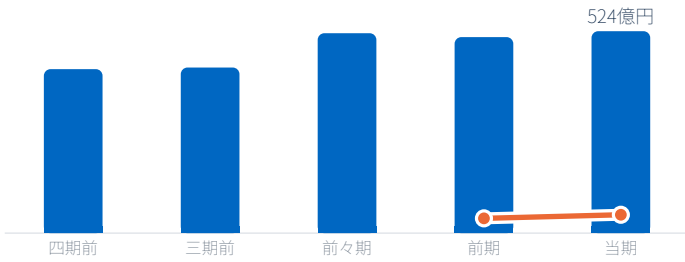
- ・2021年4月稼働の新基幹系システムの有効利用拡大
- ・設計・施工・購買全社的デジタル化推進
- ・情報インフラ・セキュリティ対策の強化継続

## 面接で使えるポイント

- ・TRY2030で2030年3月期に連結売上高700億円・営業利益率8%以上・ROE12%以上を目指す成長戦略を展開中
- ・EPC案件と自動化装置でものづくりを支える。メカトロニクス部門でAGV・双腕ロボット等オリジナル製品開発に注力
- ・タイ・シンガポール・マレーシアのアセアン市場を成長市場と位置づけ、グループシナジー創出に取り組む

証券コード 1828

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに  
新潟県上越市に本社を置く設備工事業の企業

主力事業・セグメント

- ・ 機器建設産業 97.2%
- ・ SurfaceTreatment 2.8%

強み・特徴（公開データから）

- ・ 営業利益率9.1%の安定した収益性

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高  
524億円営業利益率  
9.1%財務健康度  
58点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 49.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
692万円

建設業内 107位/140社

平均年齢  
41.1歳

建設業内 112位/140社

平均勤続  
15.5年

建設業内 76位/140社

女性管理職  
2.9%

建設業内 61位/112社

男性育休  
65.0%

建設業内 71位/104社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 田辺工業(株)【1828】：決算情報

